

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	麒麟麦酒株式会社 仙台工場		
事業所の名称	麒麟麦酒株式会社 仙台工場		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港2-2-1		
主たる事業	飲料・たばこ・飼料製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	キリングループのSBT達成に向けた施策の推進し、キリングループ全体で、2030年で2015年比-30%のGHG排出量削減に努める。 【方針】 ・再生可能エネルギーの導入。 ・省エネルギーによる原単位対前年 1%削減		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	14,309 t-CO ₂	基準原単位	101.5
	目標年度	2022 年度	目標排出量	12,651 t-CO ₂	目標原単位	89.72
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	14,326 t-CO ₂	排出原単位	105.3
			削減率	-0.12 %	削減率	-3.75 %
	排出量等の増減理由	2021年1月～2月の寒波により排水処理工程にて蒸気使用量増加のため、都市ガス使用量が増加し温室効果ガスの排出量増加である。				
	第2年度	2021 年度	排出量	14,973 t-CO ₂	排出原単位	110.9
			削減率	-4.65 %	削減率	-9.27 %
	排出量等の増減理由	排出増加の理由:製造ライン増設工事(139t-CO ₂)、熱回収設備故障(124t-CO ₂)、太陽光発電設備稼働制限(442t-CO ₂)、エネルギー起源CO ₂ 以外の増加(514t-CO ₂ メタン起源が主でコージェネ不調により未回収が発生)				
	第3年度	2022 年度	排出量	15,551 t-CO ₂	排出原単位	91.63
			削減率	-8.68 %	削減率	9.72 %
排出量等の増減理由	・太陽光発電設備発電不足のため70t-CO ₂ 増加。(予定2100kWh 実績1974kWh 未発電電力量126kWh) ・製造設備増設のため2603t-CO ₂ (電力1531kWh、都市ガス782千m ³ 使用量増加) ・エネルギー起源CO ₂ 以外の増加(7.5t-CO ₂ メタン起源にてコージェネ送りガス処理設備不調により未回収が発生)					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の状況	基準年度	79 %	目標年度	82 %
	第1年度	79 %	実施状況の説明等	計画から変更なし
	第2年度	82 %	実施状況の説明等	計画から変更なし
	第3年度	82 %	実施状況の説明等	計画から変更なし

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	デマンド管理		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	1999年1月ISO14001認証取得	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【会社全体】 ・2017年3月 国内外のキリングroup温室効果ガス(以下、GHG)中期削減目標がSBTより承認 ・2020年11月 キリンホールディングス RE100へ加盟	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	2020年コロナ禍以降在宅勤務の推進	実施済
	廃棄物削減対策の実施	1998年1月より廃棄物再資源化率100%継続	実施済
	森林の保全・緑化の推進	2001年より水源の森活動(川崎町)実施、2013年より三陸沿岸松林植樹活動実施	実施済
	グリーン調達の実施	1999年キリンビール「グリーン調達基本方針」制定後継続	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	・2006年ボイラー燃料転換:重油から天然ガスへ転換 ・2006年バイオガスエンジン導入:嫌気排水処理設備から発生するバイオガス(主成分:メタン)を主燃料として使用	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	2016~2017年 温室効果ガス削減アクションプログラム モデル事業	実施済